

令和4年(2022年)9月5日(月) 13956号



株式会社 日刊金属

本社 大阪府北区天満2丁目12番地3号
 ヴィレッジリバー南森町3階E号

TEL: 06-6353-7831
 FAX: 06-6353-7832

MAIL: metal_info_osaka@nikkankanzoku.co.jp
 WEB: https://home.nikkankanzoku.co.jp/

購読料 12か月 77,760円 外電配信料 12か月 92,400円
 6か月 38,880円 6か月 46,200円

金属資源情報

世界の探鉱動向2022 (1)

JOGMEC

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構(細野哲弘理事長)はこのほど、「2022世界の探鉱動向」をWebサイトに掲載した。S&P Global Market Intelligence社が発表した「WORLD EXPLORATION TRENDS」を翻訳したもので、抜粋・要約を紹介する。

世界の探鉱動向

2021年は、(新型コロナの)パンデミックによる困難な状況が続いたものの、鉱業界にとっては利益を上げる年となった。大半のコモディティの価格は2020年下半年から上昇を続け、中には史上最高値に達したのもあった。強気な資本市場センチメントが大勢を占め、2021年のジュニア企業と中堅企業による資金調達額は21.55bUS\$に上昇し、その額は2020年の調達額12.13bUS\$の2倍近くとなった。これにより、探鉱活動も対前年比で増加し、ボーリング件数は68,880件が報告され、2020年の41,026件と比べ70%近く増加した。

これらの要因はパイプライン活動指数(PAI)に反映され、2021年3月には、2012年3月に記録した最高値152をわずかに下回る149の高水準に達した。PAI平均値は、2020年が98だったのに対し2021年は137。

資金調達額とサイト活動の増加は2021年の企業の探鉱予算にも反映され、S&P Global Market Intelligence社のCorporate Exploration Strategies (CES)によると、2020年の8.35bUS\$から35%増の11.24bUS\$となった。

将来に目を向けると、パンデミックに影響を受けた人たちが景気回復を支援するための政府の支出増は高インフレを招き、これに労働力不足やエネルギー価格の上昇も加わって鉱業界のコストは増加している。コスト増は探鉱よりも採鉱の方が深刻である。

しかし短期的にコモディティ価格は上昇を続け、依然としてマージンはパンデミック前の水準を大きく上回るはずである。

パンデミックに関連するさらなる操業停止のリスクが減少し、大半の国の経済は引き続き完全回復へと向かっている。2022年のジュニア企業の資金調達状況は、1月には対前月比で減少したものの、引き続き堅調であると思われ、活動しているジュニア企業数は過去12か月間で大幅に増加している。

その結果、2022年のジュニア企業の予算は増加し、一方で資金の豊富なメジャー企業は、新規鉱床の探鉱が可能となり、進行中のプロジェクトを進めるであろう。このため2022年の世界の探鉱予算は対前年比5~15%増加すると予測されるが、2月下旬に始まったロシアのウクライナ侵攻によりコモディティ市場と世界経済全体に不確実性が生じており、これはしばらく続くと思える。

2021年までは、世界経済の堅調な回復に対する高い期待が金属市場を支えていた。主要国ではコロナワクチン接種が始まり、公衆衛生に関する制限は緩和された。製造活動が再開し、工業用金属やバッテリー用金属に対する需要が高まったことから、すでに上昇していたコモディティ価格が一層高騰した。金融刺激策や救済策に促されて個人消費も回復した。

インフレ、中国経済の失速、ロシア・ウクライナ紛争により抑えられた世界経済の回復

2021年の米国や欧州の購買担当者景気指数(PMI)は拡大領域で依然として堅調に推移したが、一方で中国の各種指数は50%の閾値周辺で停滞しており、景気回復が後退していることを示している。

中国では、厳格なゼロコロナ政策によって各地で都市単位のロックダウンが施行されており、多くの部門で産業活動が停止している。(次頁へ)

非鉄金属全般

銅 岡田商店

代表 岡田兼典

580-0046

大阪府松原市三宅中4-20-14

電話: 072 (289) 8936 (代)

ファックス: 072 (289) 8937

2021年は時間が経つにつれて、急速に回復している主要国経済で労働力が不足し、原材料が入手しづらい状況から、世界全体の景気回復をさらに妨げた。

2021年のエネルギー部門は、経済成長を促すと同時に妨げにもなった。多くの国で、グリーン・エネルギーへの移行が進み、再生可能エネルギー・ポートフォリオや電気自動車（EV）市場の拡大に向けた目標が設定された。前者では銀や銅の需要が増加し、後者ではバッテリー用金属であるニッケル、コバルト、リチウムの需要が増加した。一方で、欧州や中国でのエネルギー価格の上昇により、多くの（特に亜鉛の）製/精錬所が操業を停止し、また下半期には中国で脱炭素目標の達成に向けて電力使用量が抑制されたため、鉄鋼生産量が大幅に削減された。

欧州と中国での電力価格上昇を受けて、多くの亜鉛生産者が自社のエネルギー集約型製錬所の稼働を停止し始めた。これにより亜鉛価格は回復し、ロンドン金属取引所（LME）では2021年10月にその年の最高値である3,815US\$/tとなった。その後、価格はわずかに後退したものの、（ウクライナ情勢により）欧州へのエネルギー供給が脅かされると、歴史的な水準を上回って推移し、2022年3月8日には過去15年間で最高値となる4,136US\$/tを記録した。

自動車市場全体とは対照的に、2021年のEV市場は活気にあふれ、世界のPHEV（プラグインハイブリッド）乗用車の売上高は対前年比106.8%に上昇した。バッテリー製造者が生産能力を増強し、ニッケル需要は高まり、それに追隨して価格も上昇した。変動はあったものの、2021年全体のLMEニッケル価格は21%上昇した。第4四半期の価格急騰はLMEの在庫減少にも支えられた。2022年にはロシア・ウクライナ戦争がニッケル精鉱とニッケル地金の供給途絶に対する不安を煽ったため、価格は上昇し、3月8日にはLME価格を100,000US\$/t以上に押し上げ、取引所での金属取引は中止された。

減摩合金・各種ハンダ
鉛滓・錫滓の精錬

中川金属精錬所

代表者 中川 譲治

〒556-0022 大阪市浪速区桜川 1-6-22

TEL 06-6561-3759(代表)



鉛滓・鉛管板屑

株式会社 國樹商店

〒556-0011 本 社 大阪市浪速区難波中 1-16-8
電話 06-6649-0045 代表

〒556-0011 工 場 大阪市浪速区稲荷 1-11-5
電話 06-6561-7331~2

取引再開後、ニッケル価格は3月末に33,350US\$/tに後退した。

銅はグリーン・エネルギーへの移行に関係する鉱種である。EV、送電網、広範な電化設備での用途の需要の高まりを受けて、銅価格は2021年に22%上昇し、5月には10,000US\$/tを突破、10月には11,000US\$/tを一時的に上回った。精製銅の生産はエネルギー価格の上昇による影響をさほど受けなかったが、中南米での政治的要因により社会不安が生じ、精鉱の供給に影響を及ぼした。

さらに、進行中の銅プロジェクト不足が長期にわたり安定供給を侵害し、現在の高値が続く可能性がある。また銅価格は、中央銀行の金融政策による米ドルの為替変動という2021年の経済的背景にも影響を受けた。

需要の回復、都市封鎖の解除で探鉱予算は上昇

世界の探鉱予算は、予想よりも早い世界経済の回復、堅調な金属価格、パンデミックによるロックダウンの緩和に後押しされて、2021年大幅に回復した。

2021年の世界の非鉄金属の探鉱予算は35%増の11.24bUS\$に上昇した。これは過去8年間の最高額である。操業した探鉱業社数は対前年比10%増の1,948社であり、4年連続で増加したが、2011年と2012年に探鉱活動を行っていた企業は2,500社弱であった。予算額の拡大により、探鉱予算の平均値と中央値はそれぞれ5.8mUS\$と1.4mUS\$に増加した。

Industry Monitor月次レポートのとおり、ジュニア・中堅企業による大規模な資金調達額（2mUS\$以上の資金調達）は2021年には89%増の20.53bUS\$に、あるいは2mUS\$未満のものを含めると21.55bUS\$に跳ね上がった。（次頁へ）

日刊金属

外電配信料
(税込)

6 ヵ月 : 46,200 円

12 ヵ月 : 92,400 円

小規模な資金調達を含む調達総額に占める金の割合は2020年の51%から36%に急落し、ベースメタルや他の金属の占める割合とほぼ同等となった。銅の資金調達額が対前年比でほぼ4倍増となったためである。

レアメタルの占める割合は、主にリチウムやレアアースに対して新たな関心が生まれたことから2020年の18%から28%へとさらに増加し、リチウム価格は最高値となり、主要国はレアアースの供給確保に努めた。しかし、これらのコモディティに対して調達された資金の過半は探鉱ではなく開発に向けられている。

Toronto証券取引所(TSX)では、2021年に対前年比49%増の総額8.61bUS\$が調達され、これはすべての取引の中で最も多い金額である。

一方、豪州証券取引所(ASX)では対前年比75%増の7.76bUS\$が調達された。2020年のASXでの調達額はTSXの額を23%下回っていたが、2021年はわずか10%下回る額であった。(次号へつづく)

非鉄金属全般・金属リサイクル
新棒・コーク・砲金・銅滓

株式会社 高田商店

代表取締役 高田 晋 善

〒544-0001 大阪市生野区新今里 7-10-26
Tel.06-6753-1643 Fax06-6753-4545



メキシコ：Cerro Las Minitas多金属プロジェクトのPEAを発表

2022年8月29日付けで、加Southern Silver Exploration社はCerro Las Minitas多金属プロジェクト(Durango州)の予備的経済評価(PEA)を発表した。

ベースケースは、税引き後NPV 349mUS\$ (割引率5%)、IRR 17.9% (銀25.24US\$/oz、銅4.35US\$/lb、鉛

1.08US\$/lb、亜鉛1.53US\$/lbと想定)、AISCは銀換算13.27US\$/oz、CAPEX 341mUS\$と算定された。大規模坑内掘り開発によるマインライフ15年間の平均生産量は、銀換算14.2百万oz/年とされている。

PEAは2021年10月時点の資源量に基づいており、概算鉱物資源量12.3百万t(品位：Ag 106g/t、Cu 0.16%、Pb 1.3%、Zn 3%)、予測鉱物資源量：19.6百万t(品位：Ag 117g/t、Cu 0.23%、Pb 1.2%、Zn 3%)と公表されていた。



**銅合金地金標準販売価格を決定
近畿青銅会**

近畿青銅会は9月の銅合金地金標準販売価格を発表した。各種品目の標準販売価格は次の通り。(単位：キログラムあたり円、カッコ内は前回比)

◇青銅BC1種 1,215円 (◎5)

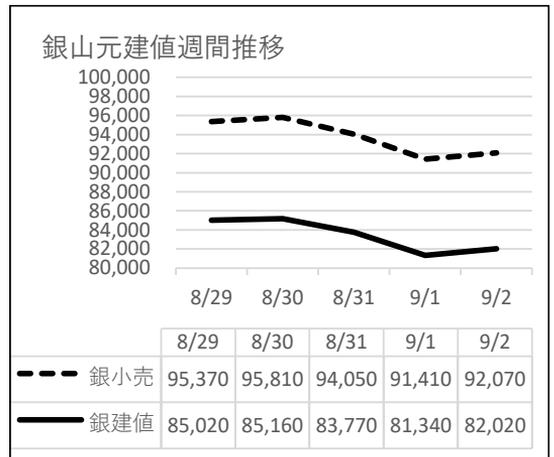
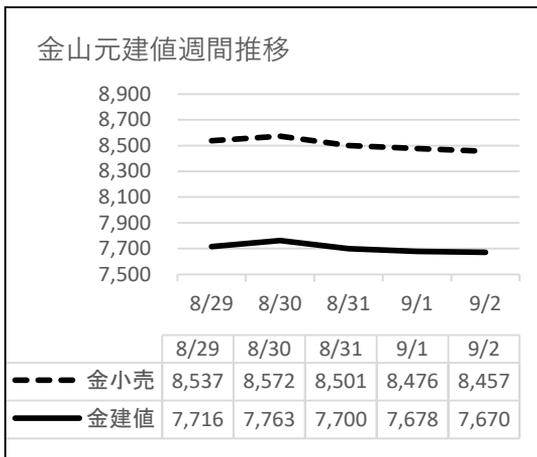
- ◇青銅BC2種 1,535円 (◎5)
- ◇青銅BC3種 1,615円 (-)
- ◇青銅BC6種 1,295円 (-)
- ◇青銅BC7種 1,425円 (-)
- ◇黄銅YBSC3種 1,015円 (◎10)
- ◇鉛青銅LBC3種 1,560円 (-)
- ◇りん青銅PBC2種 1,635円 (-)



金銀山元建値週間推移

8月29日～9月2日

	8月平均	建 値	小 売
金(¥/g)		7,690.19	8,492.95
銀(¥/kg)		86,910	97,920



故銅市況

2日朝入電の海外相場は、LME(ロンドン金属取引所)銅相場で、直物の前場売値が、前営業日の7,721.00ドルより19.00ドル安の7,702.00ドル。直物の終値は、前営業日の7,845.50ドルより193.50ドル安の7,652.00ドル。3か月物の前場売値は、前営業日の7,701.00ドルより36.00ドル安の7,665.00ドル。3か月物の終値は、前営業日の7,801.50ドルより204.50ドル安の7,597.00ドル。COMEX(ニューヨーク商品取引所)銅相場の12月限は、前営業日の351.85セントより11.20セント安の340.65セント。SHFE(上海期貨交易所)銅相場の10月限は、前営業日の6万1,940元より1,020元安の6万0,920元。

2日の東京為替市場TTSレートは、前日の140.53円より0.56円の円安ドル高、1ドル=141.09円。

故銅直納問屋筋の平均値頃感 (単位は千円)

(9月2日更新)

直納問屋筋によるロット物(5トン前後)の平均的な値頃感は次の通り。

ピカ線が878~883、上銅新のうちタフピッチや無酸素銅などは843~848、並銅は808~818、込銅(高品位=約97%)は798、セパは683~688。コーベルは要り用筋で624、それ以外は609ほど。黄銅削粉も同様に要り用筋634、それ以外604~614どころの値頃。並青銅削粉は707~712どころ。

小口市の中相場(1トン前後)では、ピカ線が858~878、上銅新しくが823~843、普通上銅が798~818、2号銅線が790~810、並銅が788~808、込銅(94~97%)が736、込銅(90~93%)が738、下銅が407~457、セパが648~683、コーベルが564~609、黄銅棒材が559~604、黄銅削粉が554~599、黄銅ラジが519~527、交叉ラジが459~516、黄銅銅鋳物が463~470、送りが282~301、上青銅鋳物が704~724、並青銅鋳物が684~699、上青銅鋳物削粉が699~719、並青銅鋳物削粉が674~694どころ。

アルミ二次合金メーカー買値実勢値

(1トン程度・置場・現金・キロ当たり円)

関東地区(8月後半)

2S=215円~235円、63S=199円~250円、アルミホイール(1P)=111円~225円、ビス付サッシ=77円~86円、エンジンコロ=100円~108円、込合金(機械鋳物)=83円~91円、缶プレス(ソフト)=56円~66円。

関西地区(8月後半)

2S=197円~200円、63S=200円~235円、印刷版=190円~193円、アルミホイール(1P)=176円~186円、ベースメタル=144円~148円、機械鋳物=86円~89円、ダライ粉=65円~68円、ビス付サッシ=83円~98円、缶プレス=73円~78円。

2日に入電した直近のLME銅相場直物前場売値は7,702.00ドル。この値と2日の東京外国為替市場USドルTTSレートから計算した国内採算値は、前日の112万3,000より1,000円高の112万4,000円。この日、電気銅建値は114万円に据え置かれた。

為替動向

1日、ロンドン外国為替市場のユーロは対ドルで下落。16時、前日と比べ0.0120ドルのユーロ安ドル高、1ユーロ=0.9930ドル~0.9940ドルで推移した。この日発表された米国の8月のISM製造業景況感指数が市場予想の51.9を上回る52.9となった。インフレ圧力はやや緩和傾向にあるがFRBの金融引き締めが長期化すると観測は根強くユーロ売りドル買いが優勢となった。

1日のニューヨーク外国為替市場で円相場は5営業日の続落となった。前日と比べ1.25円の円安ドル高、1ドル=140.15円~140.25円で取引を終えた。一時は140.23円と1998年8月以来24年ぶりの円安水準を付けた。この日発表された米国の週間新規失業保険申請件数は前週比で3週連続の減少。市場予想の24万8,000件を下回る23万2,000件となった。8月のISM製造業景況感指数もほぼ横ばいながら市場予想を上回り米国の景気底堅さを窺わせる内容だった。FRBに利上げを躊躇させる内容ではないとの見方から主要通貨に対しドルが買われた。米国の債券市場では長期金利が一時3.29%と前日終値の3.19%から上昇、凡そ2か月ぶりの高水準を付けたことも円売りドル買いを促した。

2日早朝の東京外国為替市場でも円相場は下落した。8時30分、前日17時と比べ0.82円の円安ドル高、1ドル=140.10円~140.11円で推移した。一時は140.27円まで下落、凡そ24年ぶりの安値を更新した。米国の経済指標は概ね堅調でFRBが積極的な金融引き締めを継続すると観測は根強く、主要通貨に対してドルを買う動きに弾みが付いている。米国の債券市場で長期金利が上昇したこともあって円売りドル買いの優勢が続いた。ただ、140円台で持ち高調整目的の円買いドル売りも入るなど円相場には一定の底堅さもみられた。円は対ユーロでは上昇。同じく0.32円の円高ユーロ安、1ユーロ=139.37円~13.940円で推移した。

鉛屑・半田屑

雨滝商事株式会社

広陵リサイクルセンター

代表取締役 雨瀧 卓

奈良県葛城郡広陵町大字三吉 27-1

TEL/FAX (0745)60-1613 携帯 090-2115-4918

高価買取ります



LME銅相場は続落 直物終値は7,652.00ドル
 COMEX銅相場も続落 SHFE銅相場も続落
 LME非鉄相場はほぼ全面安 アルミ直物は3営業日で約8%安、1年4か月ぶり



2日朝入電した海外相場は、LME（ロンドン金属取引所）の銅相場で、直物の前場売値が、9月1日入電の7,721.00ドルより19.00ドル安の7,702.00ドル。3営業日の続落で7.37%安。この週7.37%の下落。9月に入って0.25%の下落。3か月物の前場売値は、9月1日入電の7,701.00ドルより36.00ドル安の7,665.00ドル。3営業日の続落で7.43%安。この週7.43%の下落。9月に入って0.47%の下落。

LME公認倉庫の銅在庫は、現地8月31日の11万8,500トンより4,175トン減の11万4,325トン。

COMEX（ニューヨーク商品取引所）の銅相場は、9月限が、9月1日入電の351.85セントより10.40セント安の341.45セント。4営業日の続落で8.00%安。この週8.00%の下落。9月に入って2.96%の下落。10月限は、9月1日入電の351.90セントより10.80セント安の341.10セント。5営業日の続落で7.79%安。この週7.74%の下落。9月に入って3.07%の下落。

SHFE（上海期貨交易所）銅相場は、9月限が、9月1日入電の6万2,470元より1,120元安の6万1,350元。4営業日の続落で3.73%安。この週3.73%の下落。9月に入って1.79%の下落。中心限月に当たる10月限は、9月1日入電の6万1,940元より1,020元安の6万0,920元。3営業日の続落で3.88%安。この週3.82%の下落。9月に入って1.65%の下落。

錫も続落 直物は4営業で約12%安

LME錫相場の前場売値は、直物が、9月1日入電の2万3,600.00ドルより1,975.00ドル安の2万1,625.00ドル。4営業日の続落で11.55%安。この週11.55%の下落。9月に入って8.37%の下落。3か月物の前場売値は、9月1日入電の2万3,025.00ドルより1,375.00ドル安の2万1,650.00ドル。3営業日の続落で10.91%安。この週10.91%の下落。9月に入って5.97%の下落。

LME公認倉庫の錫在庫は現地8月31日の4,520トンより25トン減の4,495トン。

鉛も続落 直物は3営業日で約4%安

LME鉛相場の前場売値は、直物が、9月1日入電の1,950.00ドルより35.00ドル安の1,915.00ドル。3営業日の続落で4.13%安。この週4.13%の下落。9月に入って1.79%の下落。3か月物の前場売値は、9月1日入電の1,950.00ドルより33.00ドル安の1,917.00ドル。4営業日の続落で4.01%安。この週4.01%の下落。9月に入って1.69%の下落。

LME公認倉庫の鉛在庫は現地8月31日の3万7,525トンより25トン減の3万7,500トン。

亜鉛も続落、3営業日で約10%安

LME亜鉛相場の前場売値は、直物が、9月1日入電の3,540.00ドルより240.00ドル安の3,300.00ドル。3営業日の続落で10.28%安。この週10.28%の下落。9月に入って6.78%の下落。3か月物の前場売値は、9月1日入電の3,455.00ドルより221.00ドル安の3,234.00ドル。3営業日の続落で10.12%安。この週10.12%の下落。9月に入って6.40%の下落。

LME公認倉庫の亜鉛在庫は現地8月31日の7万7,050トンより100トン増の7万7,150トン。

アルミも続落 アルミ合金は横ばい 北米特殊は続落

LMEアルミ相場の前場売値は、直物が、9月1日入電の2,368.50ドルより62.50ドル安の2,306.00ドル。3営業日の続落で7.58%安。この週7.58%の下落。9月に入って2.64%の下落。3か月物の前場売値は、9月1日入電の2,357.00ドルより55.50ドル安の2,301.50ドル。3営業日の続落で7.40%安。この週7.40%の下落。9月に入って2.35%の下落。

LME公認倉庫のアルミ在庫は現地8月31日の27万7,050トンより万675トン減の27万6,375トン。

LMEアルミ合金相場の前場売値は、直物が、9月1日入電の1,760.00ドルより横ばいドルの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。3か月物の前場売値は、9月1日入電の1,760.00ドルより横ばいドルの1,760.00ドル。この週横ばい。9月に入って横ばい。

LME北米特殊アルミ合金（NASAAC）相場の前場売値は、9月1日入電の2,323.00ドルより41.00ドル安の2,282.00ドル。2営業日の続落で1.85%安。この週1.85%の下落。9月に入って1.76%の下落。3か月物の前場売値は、9月1日入電の2,315.00ドルより38.00ドル安の2,277.00ドル。2営業日の続落で2.06%安。この週2.06%の下落。9月に入って1.64%の下落。

ニッケルも続落 3営業で約5%安

LMEニッケル相場の前場売値は、直物が、9月1日入電の2万1,255.00ドルより730.00ドル安の2万0,525.00ドル。3営業日の続落で4.58%安。この週4.58%の下落。9月に入って3.43%の下落。3か月物の前場売値は、9月1日入電の2万1,320.00ドルより735.00ドル安の2万0,585.00ドル。3営業日の続落で4.52%安。この週4.52%の下落。9月に入って3.45%の下落。

LME公認倉庫のニッケル在庫は現地8月31日の5万4,612トンより72トン減の5万4,540トン。

LME公示価格(US\$)／9月1日

		銅	錫	鉛	亜鉛	アルミ	アルミ合金	北米特殊アルミ合金	ニッケル
直物	公示価格	7,702.00	21,625.00	1,915.00	3,300.00	2,306.00	1,760.00	2,282.00	20,525.00
	前営業日比	▲ 19.00	▲ 1,975.00	▲ 35.00	▲ 240.00	▲ 62.50	0.00	▲ 41.00	▲ 730.00
先物	公示価格	7,665.00	21,650.00	1,917.00	3,234.00	2,301.50	1,760.00	2,277.00	20,585.00
	前営業日比	▲ 36.00	▲ 1,375.00	▲ 33.00	▲ 221.00	▲ 55.50	0.00	▲ 38.00	▲ 735.00

海外非鉄金属相場

(9月2日 入電・現地 9月1日)

1ロット=銅、鉛、亜鉛、アルミは25トン
錫5トン、アルミ合金20トン、ニッケル6トン
セツルメント=現物・前場・売

Table with columns for metal types (銅AG, 錫HG, 鉛, 亜鉛SHG, アルミHG, アルミ合金, 北米特殊アルミ合金, ニッケル, NYコメックス相場) and rows for current prices, previous day prices, and high/low prices.

Table for '採算価格' (Cost Price) showing prices for various metals (銅, 錫, 鉛, 亜鉛, アルミ, ニッケル) in different units.

フリー・マーケット

Table for '米国生産者価格 (地金)' (US Producer Prices) for silver and gold.

Table for 'NY相場' (NY Market) for copper and tin.

Table for 'ロンドン相場 (ドル)' (London Market) listing prices for various metals like antimony, bismuth, cadmium, etc.

Table for 'KLT M編 (MYR/KG, 出来高トン)' (KLT M Series) showing exchange rates and prices for MYR and USD.

Table for 'LME在庫 (トン)' (LME Inventory) showing stock levels for copper, tin, lead, zinc, and nickel.

Table for '上海在庫 (トン)' (Shanghai Inventory) showing stock levels for copper, aluminum, zinc, and nickel.

Table for 'LMEプレマーケット (ドル)' (LME Pre-Market) showing prices for copper, tin, lead, and aluminum.

Table for '上海相場' (Shanghai Market) showing prices for copper, aluminum, zinc, lead, and nickel.

Table for 'COMEX' and '上海' (Shanghai) showing prices for copper, aluminum, zinc, and lead.

非鉄金属製品相場

(9月2日調べ)

(キロ当たり) ◎上げ ◆下げ

伸銅品	大阪	東京	鉛亜鉛製品	大阪	東京	電線 (現場納め 定尺 関西地区 大口~小口)
銅小板2.0ミリ	1450	1385	亜鉛板0.3×3×7	620	620	V V F
建築用0.3ミリ	1500	1435	印刷用亜鉛板トッパン用	790	790	2C×1.6 55~57
銅大板2×1×2	1580	1585	給水管13ミリ	300	300	2C×2.0 98~101
銅管(ベース)	1540	1585	鉛板1.5ミリ	555	555	3C×1.6 102~105
水道用管(m当たり)13ミリ	1450	1495	鉛線3ミリ	450	450	3C×2.0 149~152
銅棒25ミリ	1360	1355	軽圧品	大阪	東京	I V
銅条1.5×100	1415	1400	アルミ箔0.007ミリ	1105	1065	1.6mm 30.5~32.4
銅線0.9ミリ	1440	1415	〃 小板1ミリ	740	695	5.5sq 83.8~89.1
銅帯6×50	1370	1355	〃 大板1ミリ	720	685	14sq 207~220
銅平角線	1640	1585	〃 5052板	775	735	CV-T
黄銅小板2.0ミリ	1225	1205	〃 6061板	1325	1285	600V 3C×38 1580~1376
〃 0.3ミリ	1255	1235	〃 2017板	1230	1295	600V 3C×60 2430~2585
黄銅大板2×1×2	1375	1385	〃 線3ミリ	725	685	600V 3C×100 4082~4340
黄銅管	1640	1690	〃 快削棒50ミリ	940	900	6kV 3C×38 2566~2723
復水器用黄銅管	1610	1660	〃 合金棒50ミリ(17S)	925	880	6kV 3C×60 3572~3791
黄銅棒快削25ミリ	1000	1030	〃 合金棒50ミリ(56S)	880	840	CVV (関西-関東)
六角棒	1030	1060	貴金属(一般小口向け)			3C×2 125-128
四角棒	1060	1090	白金(グラム)		◆ 4216	4C×2 168-172
鍛造用	1040	1070	パラジウム(グラム)		◆ 10224	6C×2 237-243
ネーバル	1140	1170	金(グラム)		◆ 8457	7C×2 271-278
高力	1140	1170	銀(キログラム)		◎ 92070	合金鉄 7月輸入単価 (CIF)
黄銅線6ミリ	1400	1390	レアメタル輸入価格	7月通関 (CIF)		フェロマンガン2%以上炭素含有 274
黄銅平角線ロール仕上	1600	1600	金属ケイ素(99.99%未満)	470		〃 その他 367.2
黄銅条1.5×100	1220	1225	モリブデン酸化物	3929		フェロシリコン55%以上 344
リン青銅板一般用1.0ミリ	2520	2710	タンタル	62949		フェロクロム4%以上炭素含有 317.3
〃 バネ用0.3ミリ	2770	2970	マグネシウム	574		フェロモリブデン純分60%以上 4007
リン青銅棒25ミリ	2680	2890	コバルト	11130		フェロバナジウム 4218
リン青銅線3ミリ	2980	3190	インジウム	29633		フェロニッケル33%未満 995.7
洋白板一般用1.0ミリ	3530	3680				電気亜鉛メッキ銅板冷延1ミリ 326
〃 バネ用1.0ミリ	3700	3860				

減摩合金	9月1日改定	銅合金地金	9月1日発表
(500kg以上、大口価格)		(標準価格)	大阪
1種	4525	BC 1種	◎ 1215
2種	4400	2種	◎ 1535
3種	4270	3種	1615
4種	3760	6種	1295
5種	3595	7種	1425
7種	1320	YBSC 3種	◎ 1095
8種	1165	LBC 3種	1560
9種	995	PBC 2種	1635



非鉄金属材料相場

キロ当たり円	◎上げ ◆下げ		(9月2日調べ)		インジウム大口~小口(99.99%)		41,000 ~ 43,000(1)		
	大阪 仲間相場	東京 仲間相場	地 金		大阪 仲間相場	東京 仲間相場	高値	安値	
山元建値					電気銅		1140(1)	金	7,670(2)
() 実施日					電気鉛		336(1)	銀	82,020(2)
					電気亜鉛		547(1)	錫(99.99%)	4,700(1)
1トン以上外税持込					高値		安値	高値	安値
非鉄原料 (炉前材)					◆1079	◆1074	◆1081	◆1076	
1号銅線	1026	1025	電 気 銅	◆1079	◆1074	◆1081	◆1076		
2号銅線	984	—	電 気 亜 鉛	518	512	518	512		
上銅 (新切)	997	992	蒸 留 亜 鉛	506	500	506	500		
雑 ナ ゲ ッ ト	856	856	再生ダイカスト亜鉛2種	437	431	437	431		
並 銅	939	921	再 生 亜 鉛 (98%)	380	374	380	374		
下 銅	920	892	電 気 鉛	308	305	308	305		
銅 削 粉	914	895	再 生 鉛 1 号	291	281	289	284		
銅 さ い (30%)	25	25	再 生 鉛 3 号	296	292	294	290		
新切黄銅セバ	809	805	錫 1 号	3600	3550	3600	3550		
コ ー ベ ル	776	763	ア ン チ モ ン	1950	1900	1950	1900		
黄銅棒地	760	751	ニッケル(メッキ用)	3150	3100	3150	3100		
黄銅削粉	754	747	コ バ ル ト	8500	8200	8500	8200		
並 黄 銅	595	601	セ レ ニ ウ ム	2900	2700	2900	2700		
黄銅ラジエター	577	561	ビ ス マ ス	1350	1250	1350	1250		
交叉ラジエター	543	552	カ ド ミ ウ ム	600	550	600	550		
黄銅鑄物	600	—	マ グ ネ シ ウ ム 合 金	500	480	500	480		
山 送 り (55%)	◎ 370	—	アルミ地金 99.70 %	◆ 368	◆ 364	◆ 370	◆ 366		
上青銅鑄物	799	—	アルミ二次地金 99 %	305	300	305	300		
並青銅鑄物	797	778	〃 90 %	263	258	263	258		
上青銅鑄物削粉	792	—	アルミ二次合金ADC12	417	412	420	415		
並青銅鑄物削粉	782	766	鑄 物 用 C2BS	442	437	444	439		
新切リン青銅(伸銅)	—	1025	青銅合金地金 3種	1570	1560	1620	1610		
〃 (鑄物)	913	—	〃 6種	1270	1260	1310	1300		
リン青銅削粉	831	814	ハ ン ダ 錫 60 %	3010	2970	3030	3000		
新切洋白(電子材)	843	821	〃 50 %	2600	2550	2620	2590		
新切亜鉛	273	273	〃 40 %	2250	2190	2205	2175		
ダイカストくず	238	238	減 摩 合 金 2 種	4370	4340	4375	4345		
亜鉛ドロス	216	227	〃 4 種	3715	3690	3720	3690		
上 鉛	140	138	〃 7 種	1250	1200	1250	1200		
電池素鉛ケース込	25	25	ス テ ン レ ス ・ 特 金	18-8ステンレス 新切		75	75		
活 字 鉛	125	122		〃 ダライ粉		60	60		
新切アルミ1級	237	239		高耐食ステンレスSUS316		210	210		
新切サッシ1級	237	237		耐熱ステンレスSUS310		365	365		
新切合金1級	222	217		13クローム 新切		17	24		
機械鑄物1級	150	155		ハイス 9種		220	220		
ビス付サッシP	173	170							
合金削粉P	95	100							
込 ガ ラ P	90	92							
カ ン ・ バ ラ	160	161							



非鉄金属材料相場面

PW:nikkin202209